

宇都宮市立城山中央小学校

学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
基礎・基本の定着	<p>○授業の導入場面を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前学年での既習事項を想起させたり復習したりする時間をつくる。 ・学習への興味を深めたり、次時への関心を高めたりするために導入場面を工夫する。 <p>○基礎・基本の定着を図るための指導方法の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体物を扱ったり操作をさせたりする活動を行い、実感的理解が得られるようにする。 ・タブレットPCの活用 ・ペア学習やグループ学習など、話し合い活動の充実を図る。 	<p>国語の基礎に関わる正答率は、市の平均と同程度であった。算数の基礎は、市の正答率より3.3ポイント低かった。本校の正答率と市の正答率との差は、昨年度と比較して縮まってきている。</p> <p>【市の正答率と本校の正答率の差】</p> <p>国：H29-4. 1ポイント→H30-0. 2ポイント 算：H29-5. 1ポイント→H30-3. 3ポイント</p>
読解力を高める指導の工夫	<p>○授業での指導の工夫と改善を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叙述を基に描写を捉えたり、心情を読み取ったりできるよう、線、矢印、図など、視覚的に関係を整理するなどし、丁寧な読み取りを行っていく。 <p>○語彙力を身に付けるために、国語辞書を活用した指導の工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物語文や説明文など、話の内容を十分に理解できるよう、調べる活動を行う。 <p>○学校図書館、新聞等の積極的活用をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせをしたり、多くの図書に触れる機会をつくったりする。 ・新聞記事を扱い、文章の書き方との関連を図って指導する。 	<p>「読むこと」の正答率は、市の正答率より0.8ポイント低かった。問題の内容別で比較すると、物語文では、市の平均正答率を1.2ポイント上回っているが、説明文では、3.5ポイント低いという結果になっている。</p>

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

基礎・基本の力はついてきたが、市の平均正答率には到達できていない。確実に基礎・基本の学力が定着できるよう、きめ細やかな指導を継続させるとともに、朝の学習の時間を充実させていく。算数の学習では、基本的な計算問題が確実に解くことができるよう指導していきたい。また、読解力を高めるために、指導の工夫や改善を図っていく。基礎・基本の事項と絡めて、語彙力を高める指導を行うことで、話の内容や文意を理解できるようにさせていきたい。そのために、読書の時間や辞書の活用などをしていき、国語力を高められるようにしたい。